



私達は、おはなしのろうそくに  
火をともす マッチです。  
この箱が、さまざまなお話を放つ  
マッチで いっぱいになるように。  
心をこめて送ります。

# 6月 ストーリーテリング勉強会 の 記録

2021年6月9日(水) 午前 9:30~11:30

主催:オーテピア高知図書館 参加者:13人

場所:オーテピア 4階集会室

今月のおはなし

## 1 ふしぎなたいこ

『ふしぎなたいこ にほんむかしばなし』

(石井 桃子/文 清水 崑/絵 岩波書店)より

【語り手から】

皆さんのお話が聴けて幸せです。

5分

## 2 おどる骸骨

『日本昔話百選』

(稻田 浩二/編著 稲田 和子/編著 三省堂)より

【語り手から】

「こわい話」を1つ覚えたくて選びました。まだ自分で頭の中に情景を、懸命に描きながらの語りですが、こわいだけの話ではないと思うので、もう少し軽く話せるようにと思っています。

8分

## 3 アリヨーヌシカとイワーヌシカ

『まほうの馬 ロシアのたのしいお話』

(A.トルストイ/文 M.ブラートフ/文 高杉 一郎/訳 田中 泰子/訳

E・ラチョフ/絵 岩波書店)より

【語り手から】

これ以上は削れないほどシンプルな文章が一刀彫りのような力強い効果を出していると思います。意識して感情をこめず淡々と語ることを心掛けました。

9.5分

## 4 三枚のお札

『おはなしのろうそく 11』

(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館)より

【語り手から】

皆が良く知っているお話なので、間違えにくいため心配していましたが、比較的落ち着いてできました。地声が高いので、和尚さんと鬼ババの声を低くしたつもりだけど、人には低く聞こえていないと分かりました。いろいろご指導ありがとうございました。

## 5 アナンシと五

『子どもに聞かせる世界の民話』

(矢崎 源九郎/編 実業之日本社)より

【語り手から】

持ち話の1つとして、大切に語ってゆきます。

16分

## 6 みどり色の子ネコ

24分

『町かどのジム』

(エリノア・ファージョン/文 エドワード・アーディゾーン/絵 松岡 享子/訳 童話館出版)より

【語り手から】

まだまだうっかり言葉を忘れててしまうので、しっかり覚えたいです。

☆おはなしの所要時間は、語り手の方にお聞きしたものです。



オーテピア高知図書館

2021年6月27日